



《学校だより》

学校教育目標：自ら考え 進んで学び 個性を認め合える生徒の育成

TOYO PRIDE (No. 5)

Wed. May second, 2024

倉敷市立東陽中学校

学校の“タブレット” ～時間を生み出す道具になあれ！～



《理科：生物の観察》

(校内の生物を撮影)

《技術：1年間のガイダンス》

(調べ学習の基礎)

春の陽気を体いっぱい浴びながら、タブレットを持った一団が、校庭の片隅に集まっていた。誰かが見つけたテントウムシを映像に収めたり、一輪のアザミをいろいろなアングルからカメラに収めたりしていました。教室を飛び出しての、理科の授業でした。校庭で見つけた「生物」について、レポートにまとめるようです。

また、技術の授業では調べ学習の基礎を学んでいました。私は生成AIに「研究紀要」「あとがき」と入力し、ラクをしようともくろんだことがあります。返ってきた答えは、研究紀要やあとがきとはどういうものかの解説だけでした。「調べる」にも「解析させる」にも相当の技術が必要なんだと痛感させられました。やっぱり学ばねば・・・。

全校生徒に一人1台の端末が導入されて、4年目を迎えました。初年度はタブレットを「使う」。2年目はタブレットで「情報を発信・共有する」。昨年度はタブレットを「主体的に活用する」。

便利な「文房具」を上手に使って、自分の好きなことや趣味を広げる時間をたくさん生み出せたら最高です。(仲間と一緒に楽しく遊ぶ機会も増やしてほしいです。)

修学旅行が、(帰校したときも) すばらしかったです！

2泊3日の修学旅行は、「行儀よし！ノリよし！天気よし！」の3拍子がそろって、大変有意義な旅行になりました。また民泊離村式の朝、三線奏者の男性が「校長先生、ええ子ばかりやのう」と声をかけてくださったのもうれしかったです。

さらに、学校へ帰ってきたところでびっくり！雨の中、おそらく2時間近くも、7台のバスが学校を離れるまで、待機して下さっていたことにも大変感謝しております。

ありがとうございました。

